

(令和2年度 不登校講演会)

子どもの不安に寄り添うために ～コロナ禍の子どもの現状～

新型コロナウイルス感染症の影響により、子どもたちの生活環境も大きく変わり、身体的・精神的な負担が増えている状況です。今一度、不登校の基本的な内容を学んでいき、家庭などで子どもとの向き合い方を考えていきます。

令和3年2月13日(土)
13:30～16:00

**会場: 筑紫野市総合保健福祉センター
カミーノ 2階視聴覚室**

内容: 基調講演、質疑応答

**対象: 行き渋いや不登校の子どもを持つ保護者
地域での支援関係者、関心のある方**

定員: 30名

**申込方法: 電話またはFAX。FAXの場合は指定申込書にて
お願いします。申込書は社会福祉協議会で配布、
ホームページからダウンロードできます。**

締切: 令和3年1月29日(金)

※新型コロナウイルスの感染状況によっては、中止もしくは延期になる場合があります。

**参加費
無料**



長阿彌 幹生氏

講師紹介

教育文化研究所 代表

自らもわが子の不登校を経験し、不登校をはじめ、親子関係など子どもと大人の向き合い方を25年にわたり研究・支援を行っています。

～注意事項～

参加時はマスク着用でお願いします。発熱などの体調不良時は参加をお控えください。

【申込・問合せ先】

社会福祉法人 筑紫野市社会福祉協議会 筑紫野市岡田3丁目11-1
TEL: 092-920-8008 FAX: 092-920-8033

主催: 筑紫野市社会福祉協議会 協力: ちくしの不登校支援ネット

この講演会は、赤い羽根共同募金の配分を受けて実施しています。